

2 日進北中学校の結果について

(1) 国語

A問題は、平均正答率が全国・愛知県を上回っていました。特に、場面の展開や登場人物の描写に注意して内容を読み取ったり、話合いの話題や方向性を捉えたりする問題や、歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読み取る問題について、正答率が全国・愛知県の結果を大きく上回っていました。

B問題でも、平均正答率が全国・愛知県を上回っていました。特に、目的に応じて文章を読み、内容を整理して書いたり、相手に的確に伝わるようにあらすじを捉えて書いたりする記述式の問題について、正答率が全国・愛知県の結果を大きく上回っていました。

しかし、A問題において、正答率が高いものの、漢字を正しく書く問題や、語句の意味を理解して文脈の中で正しく使う問題で全国平均を下回っていました。以上のことから、本校の生徒は、国語の学習内容をしっかりと身に着けていますが、言語についての知識や理解に課題があることが分かります。今後も、子どもたちの国語の学習に対する意欲を高め、言語力とコミュニケーション能力の育成に力を入れて指導していきたいと思います。

(2) 数学

A問題は、平均正答率が全国・愛知県を大きく上回っていました。特に、「関数」「資料の活用」の領域が全国と比べて優れており、グラフや表から比例・反比例の関係を見つけたり、確率の意味を理解して値を求めたりすることがよくできていました。

B問題でも、平均正答率が全国・愛知県を大きく上回っていました。特に、「図形」「資料の活用」の領域において、図形の性質を利用して証明する問題や、確率を用いて事象の起こりやすさや判断の理由を説明する問題が全国・愛知県の結果を大きく上回っていました。

しかし、A問題において、正答率が高いものの、正の数・負の数の性質や線対称・点対称な図形に関わる問題について全国平均を下回っていました。以上のことから、本校の生徒は、数学の学習内容をしっかりと身に着けていますが、基礎的な内容に一部課題があることが分かります。今後も、子どもたちの数学の学習に対する意欲を高め、基礎学力の定着、応用力の育成に力を入れて指導していきたいと思います。

(3) 理科

理科についても、平均正答率が全国・愛知県を上回っていました。特に、第1分野では、実験器具の操作について選択したり、化学変化について原子や分子のモデルを使って説明したりする問題がよくできていました。また、第2分野においては、日本の天気に関わる知識や観測記録を基に気象について説明する問題、刺激と反応についての知識や反応時間を測定する実験の仕方に関わる問題が全国・愛知県の結果を大きく上回っていました。

しかし、神経系の働きや、光の反射の規則性に関わる問題については、平均正答率が全国・愛知県を下回っていました。以上のことから、本校の生徒は、理科の学習内容をしっかりと身に着けていますが、科学的に考える部分に一部課題があることが分かります。今後も、子どもたちの理科の学習に対する意欲を高め、基礎学力の定着、科学的な思考力の育成に力を入れて指導していきたいと思います。

(4) 生活面

「朝食を毎日食べている」「毎日同じくらいの時刻に起きている・寝ている（どちらかといえば、している）」の割合が大きく、規則正しい生活をしている子どもが多いことが分かりました。また、「家で、自分で計画を立てて勉強をしている（どちらかといえば、している）」「家で、学校の授業の予習・復習をしている（どちらかといえば、している）」の割合も大きく、比較的多くの子どもたちが、家庭でも主体的に学習に取り組んでいる姿が見えてきました。

しかし、「放課後に何をして過ごすことが多いですか」（複数回答可）という質問に対して、「家でテレビやビデオ・DVDを見たり、ゲームをしたり、インターネットをしたりしている」と回答した子どもは全国平均を大きく上回っていました。今後ご家庭と協力しながら、情報機器や時間の有効な使い方について、子どもたちに働きかけていきたいと思います。

3年生保護者の皆様へ（個人票の見方）

- ア 国語A・数学Aは主として知識問題、国語B・数学Bは主として活用問題です。
- イ それぞれの問題の内容と、結果は正答を○、誤答×、無回答―の印で表しています。
- ウ 全国の生徒の正答数ごとの割合グラフがついています。